



第13回 日本成人先天性心疾患学会

**13th Annual Meeting of Japanese Society
for Adult Congenital Heart Disease**



13th Annual Meeting of Japanese Society for Adult Congenital Heart Disease

主題 1

『フォンタン手術遠隔期の成人とどう向き合うか』

主題 2

『進歩する画像診断の臨床応用と情報ネットワーク』

会 期

2011年1月8日(土)～2011年1月9日(日)

会 長

城尾 邦隆

(九州厚生年金病院副院長・小児循環器)

会 場

福岡国際会議場 5F

学会事務局

〒806-8501 北九州市八幡西区岸の浦 1-8-1 九州厚生年金病院小児科

担当：宗内 淳、弓削 哲二

TEL:093-641-5111(代表) FAX:093-642-1868

E-mail: seijinsenten13@qkn-hosp.jp

HP: <http://www.kyuko-hsp.jp/jsachd2011/>

編集協力・印刷

株式会社 スピナ

〒804-0001 北九州市戸畑区飛幡町 2-2 TEL:093-872-6008

第13回 日本成人先天性心疾患学会の開催にあたり

“ Who studies medicine without books sails an uncharted sea, but
who studies medicine without patients does not go to sea at all.”

(William Osler, 1847-1919)

第13回 日本成人先天性心疾患学会

会長 城尾 邦隆

(九州厚生年金病院 副院長)

「第13回日本成人先天性心疾患学会」, 2011年1月8日 - 9日「福岡国際会議場」(福岡市), の開催にあたり, ご挨拶申し上げます。

本学会は, 1999年1月に「日本成人先天性心疾患研究会」として発足し, 小児循環器科医, 循環器内科医, 心臓血管外科医および産婦人科医の各専門分野の垣根をこえた学際的交流にとどまらず, 看護師はじめ多種類の診療協力部門の参加をえて, 全国の診療ネットワーク構築のための日常活動をめざしています。2010年1月に研究会から学会へ発展した機会に, 九州ではじめて催されることの意義は大きいと考えます。

先天性心疾患の診療は, 小児科のかぎられた専門分野とされていたのに, なぜ, 成人先天性心疾患なのでしょう。過去30年間の先天性心疾患をめぐる医療, とくに心臓血管外科治療が著しく進歩し, 新生児乳児期に多くが失われてきた患者さんは, 今や, その約90%が長期生存できる時代になりました。しかし, このことは新たな課題を私どもに突きつけています。1997年, 本邦の先天性心疾患の患者さんは622,800名で, 成人はその時すでに318,326名(51%)でした。その後も, 毎年約9,000名が成人に達するため, 2007年には409,101名の成人先天性心疾患の患者さんが生活していると推測されています(椎名)。そのなかには, かなりの頻度で, 重大な医学的社会的問題をかかえて専門的診療や援助を必要とする患者さんが居られることも明らかとなりつつあります。

欧米諸国では, 早くから成人先天性心疾患専門医を軸にした診療体系が構築され, 科学的根拠に基づいたガイドラインが提案されています。しかし, 我が国では, 残念ながら, 孤立した経験による対応にとどまっています。国際交流に学ぶところの多い分野であり, 今回も海外から講師4名を招聘します。アジアへの窓口福岡市での開催には, 発展著しい韓国や台湾からの一般参加も期待されます。

第13回学会の企画にあたり, 私自身が日々の診療で直面する課題二つを取りあげて講演やシンポジウムとしました。まず「フォンタン手術後遠隔期」;過去30年間の臨床を振り返れば, 多くの重症心疾患を新生児期に失ってきた10年, フォンタン手術への到達と手術法改良への期待の10年, そして, やはり不整脈や肝機能障害, 蛋白漏出性腸症(PLE)に不安を強くする10年に区分され, 今, Driscoll先生の長い臨床経験に学びたいという思いを強くしています。ドイツやカナダ, お隣韓国の事情はどうでしょうか。Kaemmerer先生, Oechslin先生, Choi先生に, それぞれ, 応えていただきましょう。この企画に際し全国の会員にアンケート調査を実施したところ, 本邦ではフォンタン術後成人に達して外来診療中の方は, すでに900名を超えていることが判明しました。多忙な診療の中, ご協力いただいた皆さまに深く感謝するとともに, 課題の大きさと深さに足がすくむ思いです。

つぎに「発展著しい画像診断の臨床応用」;経胸壁心エコー検査や心血管造影に満足できない分野です。経食道心エコー検査, MD-CT, MRI, シンチグラフィなどの選択と組み合わせが提案されるでしょう。野間充先生と近藤千里先生には, 「情報ネットワークシステム」と「被爆線量への配慮」に係る教育講演を「ランチョン・モーニングで」お願いしました。ご期待ください。

不慣れな準備と広報にもかかわらず, 過去最多の88演題の応募をいただいた皆さまに感謝します。ご多忙な折, 何かとご助言いただいた理事長, 座長を快諾された理事等関係の皆さまに感謝します。学会の趣旨にご賛同される皆さまには, 各施設の同僚, 小児循環器医・循環器内科医・心臓血管外科医・看護師・臨床心理士などをお誘いのうえ, 学会を盛り上げていただくよう重ねてお願い申し上げます。プログラムや運営上の不備はご海容くださり, 限られた時間ですが, 創意工夫ある研究成果の発表をかこむ活発な議論を期待します。末筆ながら, 新年早々の本学会が, 皆さまのご多幸と発展の門出となることをこころより祈念いたします。

2011年1月

Welcome to Our Annual Meeting 2011

“ Loeb's Four Rules of Medicine

- 1. If the patient is getting better, keep doing what you are doing*
- 2. If the patient is getting worse, change something*
- 3. If you are not sure what you are doing, doing nothing*
- 4. Try to keep the patient out of the operating room”*

(from Driscoll's Fundamentals of PC, 2006: 89)

On behalf of the Japanese Society of Adult Congenital Heart Disease (JSACHD), it is my great honor and pleasure to welcome all of you to the 13th Annual Meeting in Fukuoka, Japan, January 8 to 9, 2011.

JSACHD was established in 1999. Our mission is to pursue and promote better care for adults with congenital heart disease and to facilitate collaboration and cooperation among pediatric cardiologists, adult cardiologists, cardiovascular surgeons, obstetricians, psychologists and other allied healthcare givers. All these healthcare providers have participated in the annual meetings along with guests from foreign countries. We have had many earnest discussions concerning adult patients with congenital heart disease. The 13th annual meeting of JSACHD is going to be held in Fukuoka, which is the nearest Japanese city to other Asian countries.

During the last 30 years, the evolution of patient management and surgical techniques has contributed to an increase in survival rates for many patients with congenital heart disease. In Japan, the number of adult patients with congenital heart disease is estimated to be about 500,000. Presently, this number has exceeded that of children with CHD. Some of the adult patients suffer not only from physical problems but also from social, economic and psychological obstacles. However, our understanding of these difficulties is not deep enough to allow us to reach our goal of a comprehensive management system for adults with CHD yet.

In this year's Meeting of JSACHD, we are going to have discussions focusing on two specific issues. One topic will be the long-term mobility and mortality of adult patients who have had a Fontan operation. Although management techniques have evolved favorably over the last decades and we have seen increased achievement rates for Fontan patients, ultimately we do not know if we are providing a favorable quality of life for them. Thanks to the JSACHD core members, our Questionnaire Survey revealed that about 900 adults living in Japan underwent Fontan operation and provided some initial insight into their quality of lives. Especially now, when we are beginning to recognize many cardio-pulmonary problems as well as difficulties with other organs such as the liver and the kidneys. How do we meet these challenges? What will we need to provide for them? We would like to hear about and discuss long-term management of adult Fontan patients with our colleagues from other countries.

The second topic focuses on advancements in cardiac imaging modalities. When and what should we select for our patients among the many modern techniques which have developed so quickly in the last several years. In practice, intra-hospital networks are a fundamental necessity for medical teams dealing with adult CHD patients. For this meeting, several distinguished speakers will offer us their insights. Dr. Driscoll from the Mayo Clinic, Dr. Oechslin from Toronto General Hospital, Dr. Kaemmerer from the Munich Heart Center, Dr. Choi from Yonsei-Seoul, Dr. Kondou from TWMS-Tokyo and Dr. Noma from KKNH-Kitakyusyu will all present their views. The knowledge we will gain from their insights should encourage us to forge ahead into these complicated emerging fields.

More than 80 papers based on our members' clinical experience and studies of a variety of topics concerning ACHD will be presented and discussed. Your participation in the meeting and your contribution to the discussions will be very much appreciated. I am sure that it will make the meeting meaningful and valuable for all of the participants as well as the adult patients you represent.

You and your families are sure to have a wonderful time in Fukuoka on the southernmost Japanese island of Kyushu. You will be able to enjoy sightseeing, going to hot springs and having Japanese food, such as sushi and Hakata Ramen along with sake. Finally, I hope that your happy and prosperous year 2011 starts at the meeting.

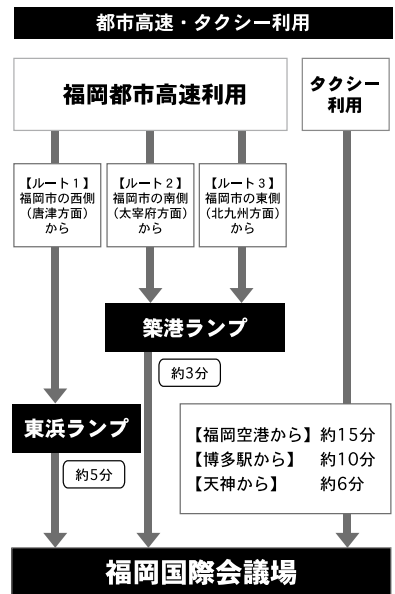
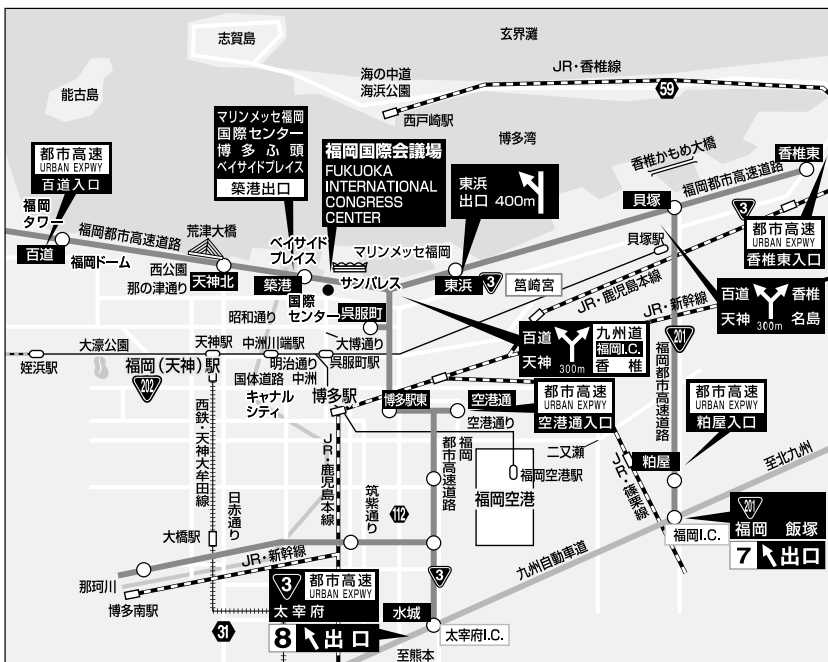
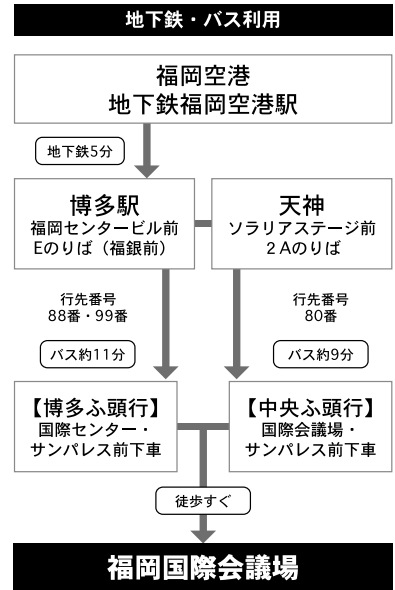
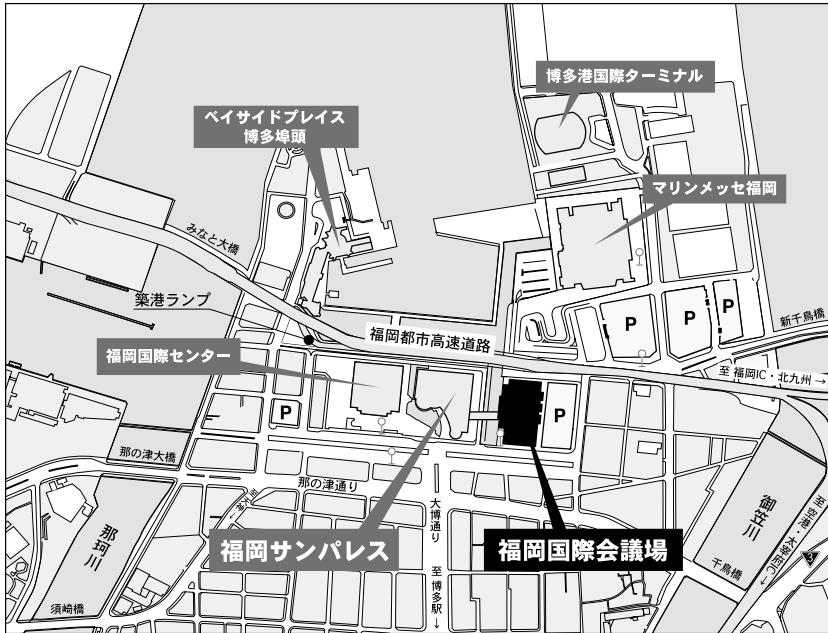
January, 2011

Kunitaka Joo, M.D.

President of 13th annual meeting of JSACHD.
Vice President, Kyusyu Koseinenkin Hospital,
Kitakyusyu, 805-8501 Japan
e-mail address: k-joo@qkn-hosp.jp

会場：福岡国際会議場ご案内図

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1
 TEL : 092-262-4111 FAX : 092-262-4701



国内主要都市からの福岡への所要時間

【航空機】

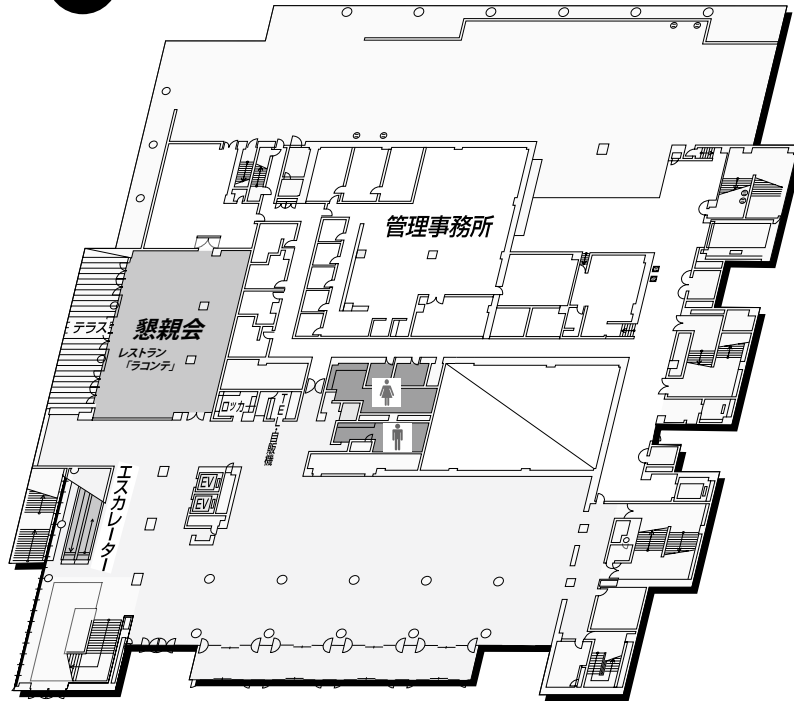
札幌	2時間10分	小牧	1時間25分
仙台	2時間10分	関西	1時間
新潟	1時間30分	伊丹	1時間05分
成田	1時間45分	松山	40分
羽田	1時間30分	沖縄	1時間35分
中部	1時間10分		

【新幹線】

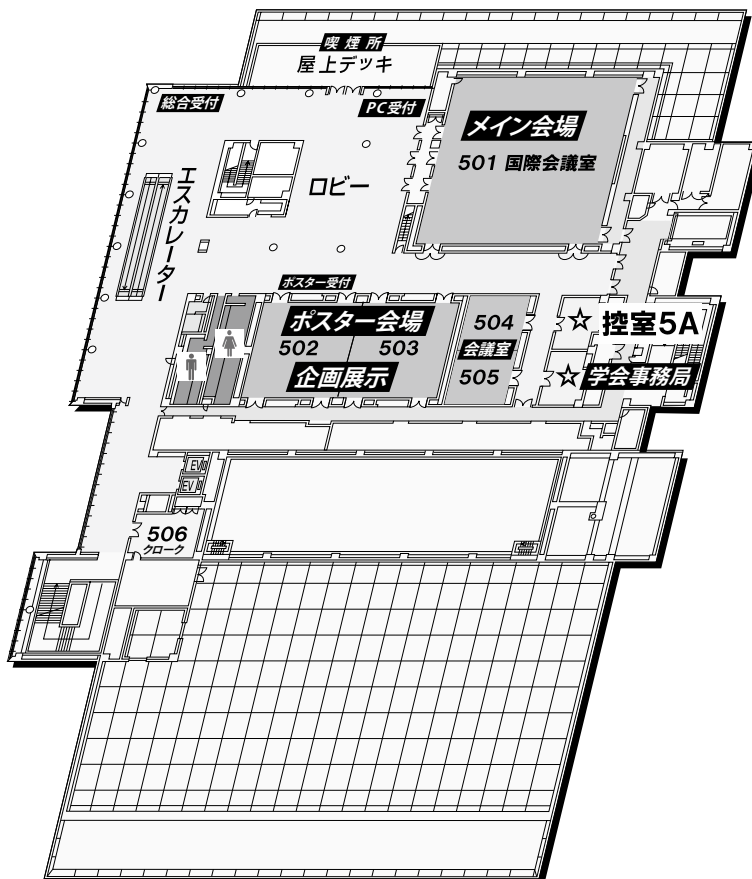
広島	1時間
岡山	1時間30分
新大阪	2時間23分
名古屋	3時間21分
東京	5時間

会場内のご案内

1F



5F



参加者へのご案内

1. 会 場

福岡国際会議場 5F

2. 会 期

2011年1月8日(土) 午前8時～開場

2011年1月9日(日) 午前8時～開場

3. 参加費

医師 10,000円

診療支援者(看護師・助産師・検査技師・一般企業) 5,000円

学生・患者さん 無料

4. 懇親会

2011年1月8日(土) 午後6時30分

福岡国際会議場内1F: レストラン「ラコンテ」

懇親会費 2,000円

5. プログラム抄録集

別途ご購入ご希望の方は、一部1,000円で販売いたします。

演題ご発表の皆様へご案内

一般口演: ご発表 7分, 討論 5分

ポスター発表: ご発表 3分, 討論 3分

シンポジウム: ご発表 15分

※発表は日本語ないし英語、発表スライドとポスターは極力英語での作成をお願いします。

※プログラムの円滑な進行のため、座長の指示を優先してください。

■発表方法に関しまして

- (1) 発表形式はPC発表のみといたします。プレゼンテーション作成ソフトは、Windows PowerPointです。
スライドやビデオは使用できませんので、ご注意下さい。
- (2) 会場へは、USBメモリ、CD-R、パソコン本体、いずれかの形で発表データをお持ち込み下さい。
- (3) 講演開始30分前迄にPC受付にて発表データの試写と受付を済ませて下さい。PCお持ち込みの方も、30分前迄にPC受付へお越し下さい。
- (4) パワーポイントの「発表者ツール」機能は使用できません。
- (5) PC受付のパソコンは台数が限られております。受付パソコンを独占しての長時間データ修正はご遠慮願います。
- (6) PCにコピーさせていただいたメディアの内容は、事務局で責任を持って消去いたします。

■ USB メモリ, または CD-R (RW 不可) をお持ち込みの方への注意事項

- (1) ソフトは, 以下のものをご使用ください。
Windows 版 PowerPoint 2000 / 2003 / 2007 (XP 起動)
※ Macintosh をご使用の方は, PC をお持ち込み下さい。
※ 動画ファイルをご使用の方は, PC をお持ち込み下さい。
- (2) フォントは OS 標準のもののみご使用下さい。
- (3) 画面の解像度は, XGA (1024 × 768) でお願い致します。
- (4) CD-R (RW 不可) への書き込みは, ISO9660 方式をお使い下さい。
※ パケット方式ですと, 会場 PC で読み込めない恐れがあります。
※ CD-R は, ご自身の PC 以外でも問題なくプレビューできるかを, 必ず事前にご確認ください。
※ 持ち込まれるメディアには, 当日発表の完成版データ以外入れないようにして下さい。
- (5) 必ず事前に, ご自身でウィルスチェックを行ってください。
- (6) 会場スピーカーに音声は流せません。

■ ノート PC をお持ち込みの方への注意事項

- (1) バックアップとして, 必ずメディアもご持参下さい。
- (2) 画面の解像度は, XGA (1024 × 768) でお願いいたします。
- (3) PC 受付の液晶モニターに接続し, 映像の出力チェックを行って下さい。
※ PC の機種や OS によって, 出力設定方法が異なります。
※ 動画は使用可能ですが, 本体の液晶画面に動画が表示されても,
PC の外部出力に接続した画面には, 表示されない場合があります。
PC 受付にて, 実際にお持ちいただく PC の外部出力に, 液晶モニターを接続してご確認ください。
- (4) プロジェクターとの接続ケーブルは, Dsub-15 ピンです。
PC によっては専用のコネクタが必要になりますので, 必ずお持ち下さい。
※ 特に Mac, VAIO, iBook 等小型 PC は, 別途付属コネクタが必要な場合があります。必ずご確認のうえお持ちください。
- (5) スクリーンセーバー, 省電力設定は事前に解除願います。
- (6) コンセント用電源アダプタを必ずご持参下さい。
※ 内蔵バッテリー駆動ですと, ご発表中に映像が切れる恐れがあります。
- (7) 動画がある場合は, PC 受付の際, 必ずスタッフにお申し出ください。
- (8) 動画のファイルがある場合は, すべてのデータを同一フォルダに入れてください。
- (9) PC 受付で動作確認を終了した PC は, ご発表 15 分前までに会場前方の左手演題付近の PC デスクへお越しの上, ケーブルを接続し発表に備えてください。
- (10) ご発表後, PC デスクにて PC をお受け取り下さい。
- (11) 会場スピーカーに音声は流せません。

■ PC 操作に関しまして

スライド送りなどの PC 操作は、ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

■ ポスター発表につきて

発表は日本語ないし英語、ポスターは極力英語での作成をお願いいたします。

パネルサイズは縦 210cm・横 90cm です。演題番号は事務局で用意しております。

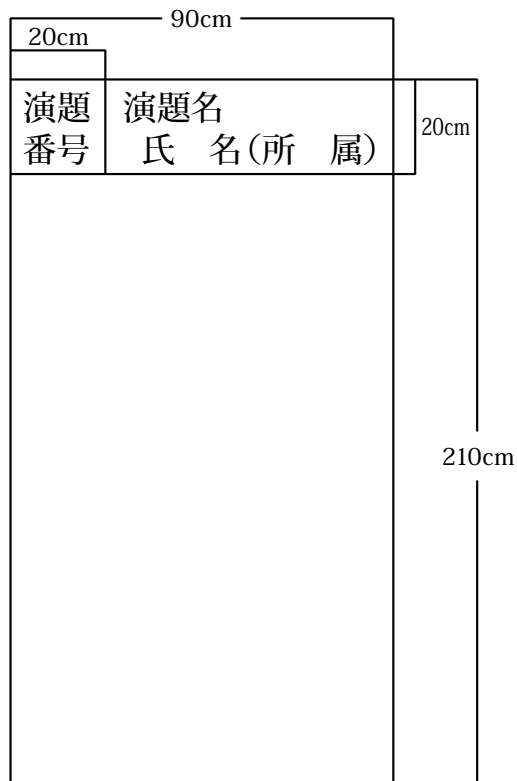
ポスターの掲示、撤去は下記時間をお願いします。

ポスター掲示 1/9 (土) 9:00 ~ 10:30

ポスター撤去 1/10 (日) 14:00 ~ 16:00

ポスターパネルサイズは横 90 cm×高さ 210 cmとなります。

演題番号は 20 cm×20 cmです。



1. 理事会

日時：2011年1月8日（土） 11：45～

場所：福岡国際会議場 5階 504会議室

2. 学会総会

日時：2011年1月9日（日） 12：00～12：30

場所：福岡国際会議場 5階 501メイン会場

3. 懇親会

日時：2011年1月8日（土） 18：30～19：30

場所：福岡国際会議場 1階 レストラン「ラコンテ」

タイムスケジュール

1月8日(土)

	口 演	座 長
8:00 ~		
8:50 ~	開会	城尾 邦隆
9:00 ~ 10:00	Session I 病態・診断 演題 I-1 ~ I-5	吉田 清 (川崎医科大学循環器内科)
10:00 ~ 10:48	Session II 不整脈 演題 II-6 ~ II-9	樗木 晶子 (九州大学循環器内科)
11:00 ~ 11:45	基調講演 Driscoll DJ (Mayo Clinic) 30 years after Fontan operation	福重 淳一郎 (福岡市立こども病院)
12:00 ~ 12:45	Lunch on Seminar (共催: Goodman ヘルスケア IT ソリューションズ) 野間 充 (九州厚生年金病院循環器科)	砂川 賢二 (九州大学循環器内科)
13:00 ~ 14:30	シンポジウム: Fontan 遠隔期 (共催: アボットジャパン) S-1 ~ S-4	Driscoll DJ (Mayo Clinic) 河田 政明 (自治医科大成人先天性心疾患センター心臓血管外科)
14:45 ~ 15:45	Session III Fontan 遠隔期 演題 III-10 ~ III-14	藤原 慶一 (兵庫県立尼崎病院心臓血管外科) 小野 安生 (静岡県立こども病院循環器科)
16:00 ~ 16:48	Session IV Fontan・肺循環 演題 IV-15 ~ IV-18	中西 宣文 (国立循環器病研究センター心血管内科肺循環)
17:00 ~ 18:00	Session V 妊娠・出産 演題 V-19 ~ V-23	松田 義雄 (東京女子医科大学産婦人科・母子総合医療センター)
18:30 ~ 19:30	懇親会	1F: レストラン「ラコンテ」

1月9日 (日)

	口演	座長	ポスター
8:00 ~			
8:10 ~ 8:50	モーニングセミナー (共催: 東芝メディカルシステムズ) 近藤千里 (東京女子医科大学画像診断学)	上村 茂 (昭和大学北部病院循環器センター)	
9:00 ~ 10:00	Session VI 外科治療 演題 V-24 ~ V-28	市川 肇 (国立循環器病研究センター小児心臓外科)	ポスター IA・IB
			9:30 ~ 10:30
10:10 ~ 10:58	Asian session (共催: 日本ライフライン) AS-1-3 指定講演 Choi JY (Yonsei University)	Heung Jae Lee (Samsung Medical Center) 赤木 禎治 (岡山大学循環器疾患治療部)	
11:00 ~ 11:45	招待講演 1 Kaemmerer H (German Heart Center) Marfan syndrome and cardiac imaging	市田 露子 (富山大学小児科)	
12:00 ~ 12:30	JSACHD 総会	丹羽 公一郎 (千葉県循環器病センター) 城尾 邦隆	
12:45 ~			ポスター IIA・IIB 12:45 ~ 14:30
15:00 ~ 15:45	招待講演 2 Oechslin E (Toronto General Hospital) Heart Failure and Echo	高橋 長裕 (千葉市立青葉病院)	
16:00 ~ 16:36	Session VII 発達・心理 演題 VII-29 ~ VII-31	賀藤 均 (成育医療研究センター循環器科)	
16:36 ~ 17:36	Session VIII 診療・支援体制 演題 VIII-32 ~ VIII-36	城尾 邦隆 (九州厚生年金病院)	
17:36 ~	閉会		

*モーニングセミナーは朝食付きです。

* JSACHD 総会は昼食をとりながら、執り行います。

January 8 (Sat)

	Presentation	Chairman
8 : 00 ~		
8 : 50 ~	Opening greeting	Joo K
9 : 00 ~ 10 : 00	Session I: Pathophysiology and Diagnosis I-1 ~ I-5	Yoshida K (Kawasaki Medical University)
10 : 00 ~ 10 : 48	Session II: Arrhythmia II-6 ~ II-9	Chishaki A (Kyushu University)
11 : 00 ~ 11 : 45	Keynote Lecture: Driscoll DJ (Mayo Clinic) 30 years after Fontan operation	Fukushige J (Fukuoka Children's Hospital)
12 : 00 ~ 12 : 45	Lunch on Seminar (Supported by : Goodman Healthcare IT solution) Noma M (Kyushu Koseinenkin Hospital)	Sunagawa K (Kyushu University)
13 : 00 ~ 14 : 30	Symposium : Long-term after Fontan operation (Supported by : Abbott Japan) S-1 ~ S-4	Driscoll DJ (Mayo Clinic) Kawada M (Jichi Medical University)
14 : 45 ~ 15 : 45	Session III: Long-term after Fontan operation III-10 ~ III-14	Fujiwara K (Hyogo Prefectural Amagasaki Hospital) Ono Y (Shizuoka Children's Hospital)
16 : 00 ~ 16 : 48	Session IV: Fontan/Pulmonary circulation IV-15 ~ IV-18	Nakanishi N (National Cardiovascular Center)
17 : 00 ~ 18 : 00	Session V: Pregnancy/Delivery V-19 ~ V-23	Matsuda Y (Tokyo Women's Medical University)
18 : 30 ~ 19 : 30	Welcome Party	"1F : Restaurant RACONTER "

January 9 (Sun)

	Presentation	Chairman	Poster
8 : 00 ~			
8 : 10 ~ 8 : 50	Morning Seminar (Supported by TOSHIBA Medical Systems) Kondou C (Tokyo Women's Medical University)	Uemura S (Showa University)	
9 : 00 ~ 10 : 00	Session VI: Surgery	Ichikawa H (National Cardiovascular Center)	
10 : 10 ~ 10 : 58	Asian Session (Supported by Japan Lifeline) AS-1-3 Special lecture: Choi JY (Yonsei University)	Heung Jae Lee (Samsung Medical Center) Akagi T (Okayama University)	9 : 30 ~ 10 : 30
11 : 00 ~ 11 : 45	Invited Lecture I; Kaemmerer H (German Heart Center) Marfan syndrome	Ichida F (Toyama University)	
12 : 00 ~ 12 : 30	JSACHD plenary meeting	Niwa K (Chiba Cardiovascular Center) Joo K	
12 : 45 ~			Poster III · IV
			12 : 45 ~ 14 : 30
15 : 00 ~ 15 : 45	Invited Lecture II: Oechslin E (Toronto General Hospital) Heart Failure and Echocardiography	Takahashi O (Chiba Aoba Municipal Hospital)	
16 : 00 ~ 16 : 36	Session VII: Psychiatry VII-29 ~ VII-31	Kato H (National Center for Child Health and Development)	
16 : 36 ~ 17 : 36	Session VIII GUCH/Links VIII-32 ~ VIII-36	Joo K (Kyushu Koseinenkin Hospital)	
17 : 36 ~	Closing session		

プログラム

1月8日(土)

8:50～ 開会の挨拶

会長：城尾 邦隆 (九州厚生年金病院 副院長)

9:00～10:00 Session I 病態・診断

座長：吉田 清 (川崎医科大学循環器内科)

I-01 術後遠隔期に血腫による右室流出路狭窄をきたした4例

山本 雅樹¹⁾, 大内 秀雄¹⁾, 平田 拓也¹⁾, 吉澤 弘行¹⁾, 山田 修¹⁾, 鍵崎 康治²⁾, 市川 肇²⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 小児循環器診療部, ²⁾ 国立循環器病研究センター 心血管外科

I-02 Fallot 四徴症根治術後の長期遠隔期に心不全を発症した4例

山村 健一郎¹⁾, 永田 弾¹⁾, 池田 和幸¹⁾, 原 寿郎¹⁾, 中城 総一²⁾, 得能 智武²⁾, 砂川 賢二²⁾, 田ノ上 禎久³⁾, 塩川 祐一³⁾, 富永 隆治³⁾

¹⁾ 九州大学病院ハートセンター 小児科, ²⁾ 九州大学病院ハートセンター 循環器内科,

³⁾ 九州大学病院ハートセンター 心臓血管外科

I-03 ファロー四徴症術後遠隔期の大動脈拡大における動脈壁血管硬度の重要性

関 満¹⁾, 齋木 宏文¹⁾, 岩本 洋一¹⁾, 河野 一樹¹⁾, 葎葉 茂樹¹⁾, 竹田津 未生¹⁾, 小林 俊樹¹⁾, 石戸 博隆¹⁾, 増谷 聡¹⁾, 先崎 秀明¹⁾

¹⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科

I-04 成人大動脈縮窄修復術後患者の高血圧とその治療の現状

藤本 一途¹⁾, 大内 秀雄¹⁾, 宮崎 文¹⁾, 矢崎 諭¹⁾, 杉山 央¹⁾, 津田 悦子¹⁾, 山田 修¹⁾, 鍵崎 康治²⁾, 市川 肇²⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 小児循環器科, ²⁾ 国立循環器病研究センター 小児心臓血管外科

I-05 単心室血行動態における心臓 MRI ガドリニウム遅延造影と心機能

池田 亜希¹⁾, 近藤 千里¹⁾, 中西 敏雄²⁾, 坂井 修二¹⁾

¹⁾ 東京女子医科大学 画像診断・核医学科, ²⁾ 東京女子医科大学 循環器小児科

10:00～10:48 Session II 不整脈

座長：梶木 晶子 (九州大学循環器内科)

II-06 当院における20歳以上の先天性心疾患術後不整脈に対するアブレーション治療成績

尾崎 智康¹⁾, 岸本 慎太郎¹⁾, 青木 寿明¹⁾, 鈴木 嗣敏¹⁾, 中村 好秀¹⁾

¹⁾ 大阪市立総合医療センター 小児不整脈科

II-07 修正大血管転位症例の Double switch 手術後の不整脈

豊原 啓子¹⁾, 竹内 大二¹⁾, 梶村 いちげ¹⁾, 稲井 慶¹⁾, 篠原 徳子¹⁾, 富松 宏文¹⁾, 山村 英司¹⁾, 中西 敏雄¹⁾, 平松 健司²⁾, 庄田 守男³⁾

¹⁾ 東京女子医科大学 循環器小児科, ²⁾ 東京女子医科大学 心臓血管外科, ³⁾ 東京女子医科大学 循環器内科

II-08 思春期から若年成人期の先天性心疾患における心房細動に対する血行動態再建術の効果

古川 央樹¹⁾, 宮崎 文²⁾, 坂口 平馬²⁾, 大内 秀雄²⁾, 鍵崎 康治³⁾, 市川 肇³⁾, 山田 修²⁾

¹⁾ 滋賀医科大学付属病院 小児科, ²⁾ 国立循環器病研究センター 小児循環器診療部, ³⁾ 国立循環器病研究センター 心臓血管外科

II-09 Fontan 術後遠隔期における不整脈手術を伴う Fontan conversion の効果

平松 健司¹⁾, 松村 剛毅¹⁾, 小沼 武司¹⁾, 立石 実¹⁾, 小嶋 愛¹⁾, 腰山 宏¹⁾, 池田 ちひろ¹⁾, 宮入 聡嗣¹⁾, 山崎 健二¹⁾, 中西 敏雄²⁾

¹⁾ 東京女子医科大学 心臓血管外科, ²⁾ 東京女子医科大学 循環器小児科

11:00 ~ 11:45 基調講演 Driscoll DJ (Mayo Clinic)

座長: 福重 淳一郎 (福岡市立こども病院)

KL Clinical Experience and 30 Year Follow-up After Fontan Operation

David J. Driscoll, M.D.

Division of Pediatric Cardiology, Mayo Clinic, Minnesota, USA.

12:00 ~ 12:45 Lunch on Seminar (共催: Goodman ヘルスケア IT ソリューション)

座長: 砂川 賢二 (九州大学循環器内科)

LS ランチョンセミナー

チーム医療に欠かせない情報ネットワーク構築と心臓超音波診断の取り組み

野間 充

九州厚生年金病院 医療情報部・超音波指導医

13:00 ~ 14:30 シンポジウム: Fontan 遠隔期 (共催: アボットジャパン)

座長: Driscoll DJ (Mayo Clinic) 河田 政明 (自治医科大成人先天性心疾患センター心臓血管外科)

S-1 日本における成人期に達した Fontan 術後患者の疫学と臨床像 全国アンケート集計から

渡辺まみ江, 宗内 淳, 弓削 哲二, 城尾 邦隆

九州厚生年金病院小児科 (日本成人先天性心疾患研究会幹事会)

S-2 Role of Transcatheter Therapy before and after Fontan operation

Jae Young Choi, M.D.

Division of Pediatric Cardiology, Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System, Seoul, Korea

S-3 The Fontan Circulation and The Liver

Erwin Oechslin, M.D.

Director, ACHD Program, University Health Network/Toronto General Hospital; Peter Munk Cardiac Centre; Toronto, Ontario, Canada

S-4 Pregnancy in Women with Fontan-Circulation

Harald Kaemmerer, M.D.

Department of Pediatric Cardiology and Congenital Heart Disease, Deutsches Herzzentrum München, Technische Universität München, München, Germany

III-10 術後30年以上経過したフォンタン患者の長期予後と Quality of life

稲井 慶¹⁾, 島田 衣里子¹⁾, 清水 美妃子¹⁾, 篠原 徳子¹⁾, 富松 宏文¹⁾, 山村 英司¹⁾, 平松 健司²⁾, 中西 敏雄¹⁾

¹⁾ 東京女子医科大学心臓病センター 循環器小児科, ²⁾ 東京女子医科大学心臓病センター 心臓血管外科

III-11 成人期 Fontan 術後の長期経過の検討

林 知宏¹⁾, 飯田 久子¹⁾, 吉永 大介¹⁾, 河村 加奈子¹⁾, 羽山 陽介¹⁾, 花岡 義行¹⁾, 荻野 佳代¹⁾, 脇 研自¹⁾, 新垣 義夫¹⁾

¹⁾ 倉敷中央病院 小児科

III-12 フォンタン術後患者の血行動態と合併症の推移

大内 秀雄¹⁾, 宮崎 文¹⁾, 山田 修¹⁾, 矢崎 諭¹⁾, 鍵崎 康治²⁾, 市川 肇²⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター小児循環器科, 心不全部, ²⁾ 国立循環器病研究センター心臓血管外科

III-13 フォンタン型手術後遠隔期の酸素飽和度変動と心拍出量の関係

齋木 宏文¹⁾, 先崎 秀明¹⁾, 増谷 聡¹⁾, 小林 俊樹¹⁾, 竹田津 未生¹⁾, 石戸 博隆¹⁾, 葭葉 茂樹¹⁾, 河野 一樹¹⁾, 岩本 洋一¹⁾, 小島 拓朗¹⁾

¹⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科

III-14 成人期 failing Fontan 患者の検討

田中 靖彦¹⁾, 宮越 千里¹⁾, 三井 さやか¹⁾, 戸田 孝子¹⁾, 濱本 奈央¹⁾, 鈴木 一孝¹⁾, 金 成海¹⁾, 満下 紀恵¹⁾, 新居 正基¹⁾, 小野 安生¹⁾

¹⁾ 静岡県立こども病院 循環器科

IV-15 TCPC conversion を如何に進めるべきか 施行例・拒絶例の検討

中川 直美¹⁾, 鎌田 政博¹⁾, 石口 由希子¹⁾, 中野 諭¹⁾, 久持 邦和²⁾, 大庭 治²⁾

¹⁾ 広島市立広島市民病院 循環器小児科, ²⁾ 広島市立広島市民病院 心臓血管外科

IV-16 成人期段階的フォンタン手術の両方向性グレン手術時の酸素推移と追加肺血流の影響

吉澤 康祐¹⁾, 羽室 護¹⁾, 今井 健太¹⁾, 吉川 英治¹⁾, 長門 久雄¹⁾, 大野 暢久¹⁾, 大谷 成裕¹⁾, 藤原 慶一¹⁾, 山内 淳²⁾, 佃 和弥²⁾, 坂崎 尚徳²⁾

¹⁾ 兵庫県立尼崎病院 心臓血管外科, ²⁾ 兵庫県立尼崎病院 小児循環器科

IV-17 Eisenmenger 症候群成人例の罹病率・生存率および内科的管理の検討

坂崎 尚徳¹⁾, 丹羽 公一郎²⁾, 中西 敏雄³⁾, 佐地 勉⁴⁾, 赤木 禎治⁵⁾, 須田 憲治⁶⁾

¹⁾ 兵庫県立尼崎病院 小児循環器科, ²⁾ 千葉県立循環器病センター成人先天性心疾患診療部, ³⁾ 東京女子医科大学 循環器小児科,

⁴⁾ 東邦大学大森病院 小児科, ⁵⁾ 岡山大学病院 循環器疾患診療部, ⁶⁾ 久留米大学 循環器小児科

IV-18 当科における肺高血圧合併成人先天性心疾患の予後

建部 俊介¹⁾, 福本 義弘¹⁾, 杉村 宏一郎¹⁾, 佐藤 公雄¹⁾, 三浦 裕¹⁾, 宮道 沙織¹⁾, 下川 宏明¹⁾

¹⁾ 東北大学循環器内科

V-19 フォンタン術後患者の帝王切開術の麻酔経験

満瀬 哲郎¹⁾，八浪 浩一²⁾

¹⁾ 熊本市市民病院 麻酔科，²⁾ 熊本市市民病院 小児循環器科

V-20 マルファン症候群合併妊娠における大動脈拡大 / 解離のリスク因子

桂木 真司¹⁾，根木 玲子¹⁾，山中 薫¹⁾，上田 恵子¹⁾，神谷 千津子¹⁾，吉松 淳¹⁾，森崎 裕子²⁾，池田 智明¹⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 周産期・婦人科，²⁾ 国立循環器病研究センター 臨床遺伝科

V-21 ファロー四徴症術後女性における妊娠・分娩の心機能への影響

神谷 千津子¹⁾，岩宮 正²⁾，堀内 縁¹⁾，林 永修¹⁾，佐々木 禎仁¹⁾，上田 恵子¹⁾，山中 薫¹⁾，

桂木 真司¹⁾，根木 玲子¹⁾，池田 智明¹⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 周産期・婦人科，²⁾ 大阪府立成人病センター 婦人科

V-22 成人先天性心疾患患者の運動能低下は低出生体重と母体の出産時合併症と関連する

田部 有香¹⁾，大内 秀雄¹⁾，神谷 千津子²⁾，宮崎 文¹⁾，池田 智明²⁾，山田 修¹⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 小児循環器科，²⁾ 国立循環器病研究センター 周産期科

V-23 フォンタン手術後の思春期患者に対する生涯患者教室を開催して～妊娠・出産のリスクと避妊方法～

大原 三代子¹⁾，城戸 佐知子²⁾，平井 重世¹⁾，谷本 江利子¹⁾，杉友 ユリ³⁾，中西 亜希子³⁾，檜田 隆子³⁾，

泊 菊子⁴⁾，深江 登志子⁴⁾，大西 美樹⁴⁾

¹⁾ 兵庫県立こども病院 循環器主体B病棟，²⁾ 兵庫県立こども病院 循環器内科，³⁾ 兵庫県立こども病院 産科病棟，

⁴⁾ 兵庫県立こども病院 外来

1月9日(日)

8:10～8:50 モーニングセミナー(共催:東芝メディカルシステムズ)

座長:上村 茂(昭和大学北部病院循環器センター)

MS モーニングセミナー

心臓CT検査にともなう放射線被曝リスクの評価

近藤 千里

東京女子医科大学 画像診断・核医学科

9:00～10:00 Session VI 外科治療

座長:市川 肇(国立循環器病研究センター小児心臓外科)

VI-24 心内修復術後遠隔期の大動脈基部置換術3例の経験

猪飼 秋夫¹⁾, 小泉 淳一¹⁾, 岩瀬 友幸¹⁾, 菅野 勝義¹⁾, 佐藤 陽子²⁾, 高橋 信²⁾, 小山 耕太郎²⁾, 岡林 均¹⁾

¹⁾ 岩手医科大学附属病院循環器医療センター 心臓血管外科, ²⁾ 岩手医科大学附属病院循環器医療センター 循環器小児科

VI-25 心房心室不一致に対するDouble switch術の長期予後の検討

島田 衣里子¹⁾, 稲井 慶¹⁾, 篠原 徳子¹⁾, 富松 宏文¹⁾, 山村 英司¹⁾, 中西 敏雄¹⁾

¹⁾ 東京女子医科大学病院 循環器小児科

VI-26 成人期に外科治療を要した房室中隔欠損症の臨床像

笠間 啓一郎¹⁾, 江村 佳子¹⁾, 鈴木 伸一¹⁾, 磯松 幸尚¹⁾, 益田 宗孝¹⁾, 金 晶恵²⁾, 咲間 裕之²⁾, 市川 泰広²⁾, 西澤 崇²⁾, 岩本 眞理²⁾

¹⁾ 横浜市立大学附属病院 外科治療学 心臓血管外科, ²⁾ 横浜市立大学附属病院 小児循環器科

VI-27 高齢心房中隔欠損症患者におけるカテーテル閉鎖術後の房室弁逆流の変化について

中川 晃志¹⁾, 赤木 禎治²⁾, 木島 康文¹⁾, 谷口 学²⁾, 草野 研吾¹⁾, 伊藤 浩¹⁾, 佐野 俊二³⁾

¹⁾ 岡山大学病院 循環器内科, ²⁾ 岡山大学病院 循環器疾患治療部, ³⁾ 岡山大学病院 心臓血管外科

VI-28 成人期における先天性心臓病再手術症例の検討

帯刀 英樹¹⁾, 栗栖 和宏¹⁾, 落合 由恵¹⁾, 岩井 敏郎¹⁾, 恩塚 龍士¹⁾, 瀬瀬 顯¹⁾

¹⁾ 九州厚生年金病院 心臓血管外科

10:10～10:58 Asian session(共催:日本ライフライン)

座長:Heung Jae Lee(Samsung Medical Center) 赤木 禎治(岡山大学循環器疾患治療部)

AS-1 Midterm Follow-up result of transcatheter ASD closure in adults severe pulmonary hypertension: The Role of Advanced Medical Therapy for Pulmonary Arterial Hypertension

Nam Kyun Kim¹⁾, Su-Jin Park¹⁾, Lucy Y. Eun²⁾, Jae Young Choi¹⁾

¹⁾ Division of Pediatric Cardiology, Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System, Seoul Korea

²⁾ Myongji Hospital Cardiovascular Center, Kwandong University Health System

AS-2 Marriage among Taiwanese Adults with Congenital Heart Disease

Yu-Chuan Hua¹⁾, Chun-An Chen²⁾, Chun-Wei Lu^{2) 3)}, Li-Li Mo⁴⁾, Jou-Kou Wang^{1) 2)}, Hung-Chi Lue^{1) 2)}, Mei-Hwan Wu^{1) 2)}

¹⁾ Cardiac Children's Foundation, Taiwan; ²⁾ Department of Pediatrics, and ³⁾ Adult Congenital Heart Center, National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan; ⁴⁾ Department of Social Work, Soochow University, Taipei, Taiwan.

AS-3 Issues of surgical cases with adult congenital heart disease in stand-alone children's hospital

Satoshi Yasukoch¹⁾, Kiyohiro Takigiku¹⁾, Hikoro Matsui¹⁾, Nao Inoue¹⁾, Shigerou Watanabe¹⁾, Hiromitsu Mori¹⁾, Yasuko Morimoto¹⁾, Yorikazu Harada²⁾, Takahiko Sakamoto²⁾

Department of ¹⁾ Pediatric Cardiology and ²⁾ Cardiovascular surgery
Nagano Children's Hospital

L-3 History and Current Care for Adult Congenital Heart Disease in Korea

Jae Young Choi, M.D. and Heung Jae Lee, M.D.*

Division of Pediatric Cardiology, Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System, Seoul, Korea *GUCH Clinic, Cardiac and Vascular Center, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Seoul, Korea

11:00 ~ 11:45 招待講演 1 Kaemmerer H (German Heart Center)

座長：市田 露子 (富山大学小児科)

L-1 招待講演 1 Marfan Syndrome

Harald Kaemmerer, M.D.

Department of Pediatric Cardiology and Congenital Heart Disease,
Deutsches Herzzentrum München, Technische Universität München,
München, Germany

12:00 ~ 12:30 JSACHD 総会

進行：丹羽 公一郎 (千葉県循環器病センター) 城尾 邦隆

15:00 ~ 15:45 招待講演 2 Oechslin E (Toronto Genral Hospital)

座長：高橋 長裕 (千葉市立青葉病院)

L-2 招待講演 2 Doppler Echocardiography and Heart Failure in Congenital Heart Disease

Erwin Oechslin, M.D.

Director, ACHD Program, University Health Network/Toronto General Hospital; Peter Munk Cardiac Centre; Toronto, Ontario, Canada

16:00 ~ 16:36 Session VII 発達・心理

座長：賀藤 均 (成育医療センター循環器科)

VII-29 成人先天性心疾患患者のQOLと影響要因

水野 芳子¹⁾, 榎本 淳子²⁾, 白井 文晶¹⁾, 小川 純子³⁾, 立野 滋¹⁾, 川副 泰隆¹⁾, 村上 智明¹⁾, 森島 宏子¹⁾, 堀端 洋子¹⁾, 丹羽 公一郎¹⁾

¹⁾ 千葉県循環器病センター 成人先天性心疾患診療部, ²⁾ 東洋大学 文学部, ³⁾ 淑徳大学 看護学部

VII-30 成人先天性心疾患患者の精神的健康を規定する要因

榎本 淳子¹⁾, 中澤 潤²⁾, 水野 芳子³⁾, 白井 文晶³⁾, 小川 純子⁴⁾, 丹羽 公一郎³⁾

¹⁾ 東洋大学文学部, ²⁾ 千葉大学, ³⁾ 千葉県循環器病センター, ⁴⁾ 淑徳大学

VII-31 22q11.2 欠失症候群における肺動脈閉鎖兼心室中隔欠損, 主要体肺側副動脈成人症例の検討

前田 潤¹⁾, 宮田 功一¹⁾, 柴田 映道¹⁾, 古道 一樹¹⁾, 福島 裕之¹⁾, 山岸 敬幸¹⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部 小児科

16:36 ~ 17:36 Session VIII 診療・支援体制

座長: 城尾 邦隆 (九州厚生年金病院)

VIII-32 当科における成人先天性心疾患患者の入院状況—最近の変化—

稲井 慶¹⁾, 島田 衣里子¹⁾, 園田 幸司¹⁾, 池原 聡¹⁾, 篠原 徳子¹⁾, 中西 敏雄¹⁾

¹⁾ 東京女子医科大学心臓病センター 循環器小児科

VIII-33 心不全が主因で予定外入院を要した成人先天性心疾患患者の臨床像

根岸 潤¹⁾, 大内 秀雄¹⁾, 宮崎 文¹⁾, 矢崎 諭¹⁾, 杉山 央¹⁾, 津田 悦子¹⁾, 山田 修¹⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 小児循環器科

VIII-34 成人先天性心疾患外来での病診および病病連携

吉村 真一郎¹⁾, 松村 正彦¹⁾, 芝 剛¹⁾

¹⁾ 天理よろづ相談所病院 小児循環器科

VIII-35 循環器内科における成人先天性心疾患診療に関する全国調査

落合 亮太¹⁾, 八尾 厚史¹⁾, 絹川 弘一郎¹⁾, 永井 良三¹⁾, 白石 公²⁾, 丹羽 公一郎³⁾

¹⁾ 東京大学医学部附属病院 循環器内科, ²⁾ 国立循環器病研究センター 小児循環器部,

³⁾ 千葉県循環器病センター 小児科・成人先天性心疾患診療部

VIII-36 成人先天性心疾患外来開設 5 年後の現状

満下 紀恵¹⁾, 田中 靖彦¹⁾, 小野 安生¹⁾, 土井 修²⁾

¹⁾ 静岡県立こども病院 循環器科, ²⁾ 静岡県立総合病院 循環器科

17:36 ~ 閉会

P-01 成人期心房中隔欠損閉鎖術前後における左室機能の検討～小児期との比較～

永田 弾¹⁾, 山村 健一郎¹⁾, 池田 和幸¹⁾, 原 寿郎¹⁾, 肥後 太基²⁾, 砂川 賢二²⁾, 田ノ上 禎久³⁾, 塩川 祐一³⁾, 富永 隆治³⁾

¹⁾九州大学病院ハートセンター小児科, ²⁾九州大学病院ハートセンター循環器内科, ³⁾九州大学病院ハートセンター心臓血管外科

P-02 右冠尖の変形により術前のエコー診断が困難であった DORV の 1 症例

松尾 辰朗¹⁾, 山口 眞弘¹⁾, 三里 卓也¹⁾, 日野 裕¹⁾, 戸部 智¹⁾

¹⁾明石医療センター 心臓血管外科

P-03 総肺静脈還流異常症の成人例

白井 丈晶¹⁾, 森島 宏子¹⁾, 堀端 洋子¹⁾, 村上 智明¹⁾, 立野 滋¹⁾, 川副 泰隆¹⁾, 丹羽 公一郎¹⁾, 杉本 晃一²⁾, 大場 正直²⁾, 松尾 浩三²⁾

¹⁾千葉県循環器病センター 小児科・成人先天性心疾患診療部, ²⁾千葉県循環器病センター 心臓血管外科

P-04 共通房室弁の形態評価に 320 列 CT が有用であった成人先天性心疾患患者の 1 例

白井 丈晶¹⁾, 森島 宏子¹⁾, 堀端 洋子¹⁾, 村上 智明¹⁾, 立野 滋¹⁾, 川副 泰隆¹⁾, 丹羽 公一郎¹⁾, 杉本 晃一²⁾, 大場 正直²⁾, 松尾 浩三²⁾,

¹⁾千葉県循環器病センター 小児科・成人先天性心疾患診療部, ²⁾千葉県循環器病センター 心臓血管外科

P-05 TOF 術後遠隔期の流出路起源心室頻拍の一例

井上 修二郎¹⁾, 向井 靖¹⁾, 竹本 真生¹⁾, 樗木 晶子¹⁾, 砂川 賢二¹⁾

¹⁾九州大学病院ハートセンター 循環器内科

P-06 修正大血管転位 (CTGA) 機能的修復後の右心不全に対する CRT の経験

藤井 公輔¹⁾, 佐賀 俊彦¹⁾, 北山 仁士¹⁾, 中本 進¹⁾, 川崎 寛¹⁾, 金田 敏夫¹⁾, 鷹羽 浄顕¹⁾, 井村 正人¹⁾, 西野 貴子¹⁾, 湯上 晋太郎¹⁾

¹⁾近畿大学医学部心臓血管外科

P-07 VSD 術後遠隔期に心室細動をきたした一例

甲木 雅人¹⁾, 大井 啓司¹⁾, 井上 修二郎¹⁾, 向井 靖¹⁾, 肥後 太基¹⁾, 竹本 真生¹⁾, 樗木 晶子¹⁾, 砂川 賢二¹⁾

¹⁾九州大学病院ハートセンター 循環器内科

P-08 VSD 術後遠隔期に発症した心房粗動～拡張機能評価の重要性～

齋木 宏文¹⁾, 先崎 秀明¹⁾, 増谷 聡¹⁾, 石戸 博隆¹⁾, 加藤 律史²⁾, 新浪 博³⁾, 小林 俊樹¹⁾

¹⁾埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科, ²⁾埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科,

³⁾埼玉医科大学国際医療センター 心臓外科

P-09 複数の focal VT に対してカテーテルアブレーションを行った Rastelli 術後の 1 例

籾 義仁¹⁾, 三橋 武司¹⁾, 中神 理恵子¹⁾, 渡部 智紀¹⁾, 渡辺 裕明¹⁾, 菊尾 七臣¹⁾, 白石 裕比湖²⁾, 片岡 功一²⁾, 南 孝臣²⁾, 河田 政明³⁾

¹⁾自治医科大学 循環器内科・成人先天性心疾患センター, ²⁾自治医科大学 小児科, ³⁾自治医科大学 小児・先天性心疾患外科

P-10 TCPC 術後遠隔期に心内膜用ショックリードを応用して ICD 装着をおこなった心室頻拍の1例

塚田 亨¹⁾, 徳永 千穂¹⁾, 林 立申²⁾, 今井 章人¹⁾, 金本 真也¹⁾, 高橋 実穂²⁾, 堀米 仁志²⁾, 平松 祐司¹⁾, 榊原 謙¹⁾

¹⁾ 筑波大学附属病院 心臓血管外科, ²⁾ 筑波大学附属病院 小児科

P-11 Successful catheter ablation using superior approach and pacemaker placement using Ensite NavX for tachy-bradycardia syndrome in a post Fontan adult patient with limited vascular access

高橋 一浩

沖縄県立南部・こども医療センター 小児循環器科

P-12 Pulmonary artery size and late functional outcome after Fontan operation

¹Gi Beom Kim, ¹Jae Suk Baek, ¹Bo Sang Kwon, ¹Eun Jung Bae, ¹Chung Il Noh, ¹Jung Yeon Choi, ²Hong Kuk Lim, ²Woong Han Kim, ²Jeong Ryul Lee, ²Yong Jin

Department of ¹Pediatrics and ²Thoracic and Cardiovascular Surgery
Seoul National University Children's Hospital

P-13 Fontan 手術変法 (Bjork 法) 後に三尖弁位に bulging sinus の三弁付グラフトを用いた One-and one half repair に Conversion した 1 例

笠原 真悟¹⁾, 立石 篤史¹⁾, 藤田 康文¹⁾, 高垣 昌巳¹⁾, 新井 禎彦¹⁾, 三井 秀也¹⁾, 佐野 俊二¹⁾, 大月 審一²⁾, 赤木 禎治³⁾

¹⁾ 岡山大学医歯薬総合研究科 心臓血管外科, ²⁾ 岡山大学医歯薬総合研究科 小児科,
³⁾ 岡山大学医歯薬総合研究科 循環器疾患集中治療部

P-14 フォンタン手術後症例での酸素吸入が腎血流に与える影響

井門 浩美¹⁾, 大内 秀雄²⁾, 田中 教雄¹⁾, 佐野 道孝¹⁾, 山田 修²⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 臨床検査部, ²⁾ 国立循環器病研究センター 小児循環器診療部

P-15 肺内シャント -Fontan 循環不全 - 肝硬変と悪化の一途をたどる単心房単心室症例に対するシルデナフィル投与

多田 祐子¹⁾, 今村 輝彦¹⁾, 波多野 将¹⁾, 八尾 厚¹⁾, 絹川 弘一郎¹⁾, 永井 良三¹⁾

¹⁾ 東京大学医学部附属病院 循環器内科

P-16 当院におけるフォンタン術後遠隔期症例の検討

坂崎 尚徳¹⁾, 佃 和弥¹⁾, 山内 敦¹⁾, 藤原 慶一²⁾, 大谷 成裕²⁾, 大野 暢久²⁾, 吉川 英治²⁾, 長門 久雄²⁾, 今井 健太²⁾, 吉澤 康祐²⁾

¹⁾ 兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科, ²⁾ 兵庫県立尼崎病院 心臓血管外科

P-17 Fontan 術後の肺動静脈瘻に対して肺葉切除を行った 1 例

中畑 弥生¹⁾, 木村 純人¹⁾, 安藤 寿¹⁾, 本田 崇¹⁾, 宮地 鑑²⁾, 石井 正浩¹⁾,

¹⁾ 北里大学医学部 小児科, ²⁾ 北里大学医学部 心臓血管外科

P-18 Total cavopulmonary connection conversion, Cardiac resynchronization therapy を同時に施行した Fontan 手術後の 1 例

井上 奈緒¹⁾, 安河内 聡¹⁾, 瀧間 浄宏¹⁾, 松井 彦郎¹⁾, 森本 康子¹⁾, 渡辺 重朗¹⁾, 森 啓充¹⁾, 原田 順和²⁾, 坂本 貴彦²⁾, 小坂 由道²⁾

¹⁾ 長野県立こども病院 循環器科, ²⁾ 長野県立こども病院 心臓血管外科

P-19 One and one half repair 術後に TCPC を施行した 2 症例の検討

岡田 陽子¹⁾, 小垣 滋豊¹⁾, 前川 周¹⁾, 内川 俊樹¹⁾, 成田 淳¹⁾, 市森 裕章¹⁾, 上野 高義²⁾, 井出 春樹²⁾, 大藪 恵一¹⁾, 南都 伸介³⁾

¹⁾ 大阪大学 小児科, ²⁾ 大阪大学 第一外科, ³⁾ 大阪大学 先進心血管治療学講座

12:45 ~ 14:30 ポスターセッション Poster IIA・IIB

P-20 Endothelial Dysfunction in Patients with a Systemic Right Ventricle

犬塚 亮¹⁾, Kerstin Wustman²⁾, Elizabeth Bedard²⁾, Jelena Radojevic²⁾, Gerhard-Paul Diller²⁾, Konstantinos Dimopoulos²⁾, Michael A. Gatzoulis²⁾

¹⁾ 東京大学医学部医学部附属病院 小児科,

²⁾ Royal Brompton Hospital Adult Congenital Heart Centre and Centre for Pulmonary Hypertension

P-21 Bosentan 内服が有効と思われたチアノーゼ性腎症の 2 症例

小島 拓朗¹⁾, 齋木 宏文¹⁾, 岩本 洋一¹⁾, 河野 一樹¹⁾, 葭葉 茂樹¹⁾, 石戸 博隆¹⁾, 増谷 聡¹⁾, 竹田津 未生¹⁾, 先崎 秀明¹⁾, 小林 俊樹¹⁾

¹⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科

P-22 肺動脈性肺高血圧症に対して Bosentan が有効であった 18p tetrasomy の一成人例

發知 淳子¹⁾, 奥村 謙一²⁾, 岡部 太一¹⁾, 星賀 正明¹⁾, 石原 正¹⁾, 岸 勘太²⁾, 森 保彦²⁾, 花房 俊昭¹⁾

¹⁾ 大阪医科大学 内科学 (I), ²⁾ 大阪医科大学 小児科学

P-23 酸素負荷, PGI₂ 負荷試験で肺血管抵抗の低下を認めた多脾症・両大血管右室起始・高度肺高血圧の一中年男性例

堀端 洋子¹⁾, 村上 智明¹⁾, 白井 文晶¹⁾, 立野 滋¹⁾, 川副 泰隆¹⁾, 森島 宏子¹⁾, 丹羽 公一郎¹⁾

¹⁾ 千葉県循環器病センター 小児科・成人先天性心疾患診療部

P-24 44 歳で肺生検の結果根治手術が可能であった修正大血管転位・心室中隔欠損症の 1 例

郷 清貴¹⁾, 太田 宇哉¹⁾, 西原 榮起¹⁾, 倉石 建治¹⁾, 玉木 修治²⁾, 田内 宣生¹⁾

¹⁾ 大垣市民病院 第 2 小児科, ²⁾ 大垣市民病院 胸部外科

P-25 18 歳時に手術適応なしと判断されていたが 18 年後に著明な肺高血圧を呈した ASD の一例

中川 直美¹⁾, 鎌田 政博¹⁾, 石口 由希子¹⁾, 中野 諭¹⁾, 久持 邦和²⁾, 大庭 治²⁾

¹⁾ 広島市立広島市民病院 循環器小児科, ²⁾ 広島市立広島市民病院 心臓血管外科

P-26 Fontan 術後の妊娠・出産：当院の経験

赤木 禎治¹⁾, 増山 寿²⁾, 井上 誠司²⁾, 笠原 慎吾³⁾, 富井 奉子³⁾, 谷口 学¹⁾, 佐野 俊二³⁾

¹⁾ 岡山大学病院 循環器疾患集中治療部, ²⁾ 岡山大学 産婦人科, ³⁾ 岡山大学 心臓血管外科

P-27 妊娠・出産を経験した完全大血管転位症 III 型姑息術後の 1 例

小田切 徹久¹⁾, 鈴木 浩¹⁾, 安孫子 雅之¹⁾, 佐々木 綾子¹⁾, 早坂 清¹⁾, 堤 誠司²⁾, 吉村 幸浩³⁾, ニ宮本 報⁴⁾

¹⁾ 山形大学医学部 小児科, ²⁾ 山形大学医学部 産科婦人科, ³⁾ 山形大学医学部 循環器・呼吸器・小児外科,

⁴⁾ 東北大学病院 心臓血管外科

P-28 大動脈縮窄症合併妊娠の検討

林 永修¹⁾, 桂木 真司¹⁾, 神谷 千津子¹⁾, 根木 玲子¹⁾, 山中 薫¹⁾, 佐々木 禎仁¹⁾, 堀内 縁¹⁾,
西尾 美穂¹⁾, 鈴木 裕介¹⁾, 池田 智明¹⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター 周産期・婦人科

P-29 Could PDE type 5 inhibitor Tadalafil prevent IUGR in pregnancies complicated by Eisenmenger's syndrome?

上田 恵子¹⁾, 神谷 千津子¹⁾, 桂木 真司¹⁾, 山中 薫¹⁾, 池田 智明¹⁾

¹⁾ 国立循環器病研究センター周産期・婦人科

P-30 妊娠中の肺動脈弁逆流の変化を心エコーと MRI の併用により観察した一妊婦例

田澤 星一¹⁾, 柿崎 周平¹⁾, 土屋 滋¹⁾

¹⁾ 東北大学病院 小児科

P-31 成人動脈管開存に対する Amplatzer Duct Occluder の使用経験

木島 康文¹⁾, 赤木 禎治²⁾, 谷口 学²⁾, 中川 晃志¹⁾, 岡本 吉生³⁾, 大月 審一³⁾, 草野 研吾¹⁾,
伊藤 浩¹⁾, 佐野 俊二⁴⁾

¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 循環器内科, ²⁾ 岡山大学病院 循環器疾患治療部,

³⁾ 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 小児科, ⁴⁾ 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 心臓血管外科

P-32 Transcatheter closure of huge PDA in adults with severe pulmonary hypertension using Amplatzer septal occluder or muscular VSD occluder

Su-Jin Park, Nam Kyun Kim, Bong Sic Yoon, Jae Young Choi

Division of Pediatric Cardiology, Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System, Seoul, Korea

P-33 全身麻酔が禁忌と判断された心房中隔欠損症に対するカテーテル治療

赤木 禎治¹⁾, 谷口 学¹⁾, 中川 晃志²⁾, 木島 康文²⁾, 五藤 恵次³⁾, 佐野 俊二⁴⁾

¹⁾ 岡山大学病院 循環器疾患集中治療部, ²⁾ 岡山大学 循環器内科, ³⁾ 岡山大学 麻酔蘇生科, ⁴⁾ 岡山大学 心臓血管外科

P-34 バルーン血管形成術後 24 年間良好な経過をたどる大動脈縮窄の1例

堀口 泰典¹⁾

¹⁾ KKR 立川病院 小児科

P-35 多彩な症状を呈したチアノーゼ性心疾患の成人例 oBT shunt に対するバルーン形成術の効果と限界

木口 久子¹⁾, 砂田 哲¹⁾

¹⁾ 高知医療センター小児科

P-36 Rastelli 術後の valved conduit による冠動脈の圧排に対して冠動脈ステント留置を行った症例の 2 年後の臨床経過

福 康志¹⁾, 門田 一繁¹⁾, 光藤 和明¹⁾, 新垣 義夫²⁾, 脇 研自²⁾

¹⁾ 倉敷中央病院 循環器内科, ²⁾ 倉敷中央病院 小児科

P-37 多脾症, 下大静脈欠損・奇静脈結合を合併した成人の二次孔欠損型心房中隔欠損症に対する 1 手術例

高橋 英樹¹⁾, 蒔 隆¹⁾

¹⁾ 淀川キリスト教病院 心臓血管外科

P-38 部分型房室中隔欠損症の成人例における僧帽弁形成の工夫 - 小児と成人の術式の融合

藤田 智之¹⁾, 川崎 志保理¹⁾, 山本 平¹⁾, 土肥 静之¹⁾, 松村 武史¹⁾, 嶋田 晶江¹⁾, 大石 淳実¹⁾, 中西 啓介¹⁾, 天野 篤¹⁾

¹⁾ 順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科

P-39 高度肺動脈弁狭窄症および動脈管開存症を合併した先天性風疹症候群の成人例に対する手術経験

藤井 正大¹⁾, 神戸 将¹⁾, 檜山 和弘²⁾

¹⁾ 浦添総合病院 心臓血管外科, ²⁾ 熊本市市民病院 小児心臓外科

P-40 根治手術後 10 年以上経過した後に再手術を必要とした先天性心疾患症例の検討

金本 真也¹⁾, 平松 祐司¹⁾, 徳永 千穂¹⁾, 今井 章人¹⁾, 塚田 亨¹⁾, 三富 樹郷¹⁾, 中嶋 智美¹⁾, 榊原 謙

¹⁾ 筑波大学附属病院 心臓血管外科

P-41 ファロー四徴症根治術後肺動脈弁置換術を施行した成人症例の手術時期についての検討

柘岡 歩¹⁾, 鈴木 孝明¹⁾, 内村 紀子¹⁾, 木村 成卓¹⁾, 加藤木 利行¹⁾

¹⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科

P-42 Fallot 四徴症根治術後に両心不全を呈し、治療方針に難渋する一例

稲葉 俊郎¹⁾, 八尾 厚史¹⁾, 牧 尚孝¹⁾, 志賀 太郎¹⁾, 波多野 将¹⁾, 絹川 弘一郎¹⁾, 永井 良三¹⁾

¹⁾ 東京大学医学部附属病院 循環器内科

P-43 右肺動脈 - 主肺動脈吻合術を施行した右肺動脈上行大動脈起始症の成人例

朝海 廣子¹⁾, 賀藤 均¹⁾, 三崎 泰志¹⁾, 金子 正英¹⁾, 濱 猛浩¹⁾, 金子 幸裕²⁾

¹⁾ 国立成育医療研究センター 循環器科, ²⁾ 国立成育医療研究センター 心臓血管外科

P-44 左冠動脈肺動脈起始症 (Bland-White-Garland 症候群) の3症例

向井 靖¹⁾, 小宮 陽子¹⁾, 甲木 雅人¹⁾, 得能 智武¹⁾, 肥後 太基¹⁾, 小田代 敬太¹⁾, 富永 隆治¹⁾, 砂川 賢二¹⁾

¹⁾ 九州大学病院 ハートセンター

P-45 Patrick-McGoon 術後遠隔期の LVOTO+IE (A 弁) に対し Rastelli 術転換、大動脈弁置換を行った 1 例

今井 健太¹⁾, 藤原 慶一¹⁾, 大谷 成裕¹⁾, 大野 暢久¹⁾, 長門 久雄¹⁾, 吉澤 康祐¹⁾, 坂崎 尚徳²⁾, 佃 和弥²⁾, 城尾 邦隆³⁾, 渡邊 まみ江³⁾

¹⁾ 兵庫県立尼崎病院 心臓センター 心臓血管外科, ²⁾ 兵庫県立尼崎病院 心臓センター 小児循環器科,

³⁾ 九州厚生年金病院 小児科

P-46 VSD 術後 17 年目に patch detachment, IE にて VSD 再閉鎖・AVR・右室流出路再建を施行した一例

栴沢 政司¹⁾, 石坂 透¹⁾, 黄野 皓木¹⁾, 石田 敬一¹⁾, 勝股 正義¹⁾, 丸山 拓人¹⁾, 松宮 護郎¹⁾

¹⁾ 千葉大学大学院医学研究院 心臓血管外科学

P-47 本邦最高齢のEbstein 奇形の1手術例

石神 修大¹⁾, 笠原 真悟¹⁾, 立石 篤史¹⁾, 藤田 康文¹⁾, 高垣 昌巳¹⁾, 新井 禎彦¹⁾, 三井 秀也¹⁾, 佐野 俊二¹⁾, 大月 審一²⁾, 赤木 禎治³⁾

¹⁾ 岡山大学医歯薬総合研究科 心臓血管外科, ²⁾ 岡山大学医歯薬総合研究科 小児科,

³⁾ 岡山大学医歯薬総合研究科 循環器疾患集中治療部

P-48 病院内で急変し死亡した成人先天性心疾患3症例

吉田 修一郎¹⁾, 大橋 直樹¹⁾, 松島 正氣¹⁾, 西川 浩¹⁾, 久保田 勤也¹⁾, 今井 祐喜¹⁾, 櫻井 一²⁾

¹⁾ 社会保険中京病院小児循環器科, ²⁾ 社会保険中京病院心臓血管外科,

P-49 多臓器障害を有する複雑心奇形の成人例 一小児科医の役割一

手島 秀剛¹⁾, 吉田 祐¹⁾, 桑原 義典¹⁾

¹⁾ 国立病院機構長崎医療センター 小児科

P-50 成人先天性心疾患に併発したパニック発作に対し精神科的治療が有効であった一例

森島 宏子¹⁾, 榎本 淳子²⁾, 水野 芳子¹⁾, 白井 文晶¹⁾, 村上 智明¹⁾, 堀端 洋子¹⁾, 立野 滋¹⁾, 川副 泰隆¹⁾, 丹羽 公一郎¹⁾

¹⁾ 千葉県循環器病センター 小児科・成人先天性心疾患診療部, ²⁾ 東洋大学 文学部教育学科

P-51 成人に達した当院手術後CHD患者の外来受診状況

中島 弘道¹⁾, 伊藤 健一郎¹⁾, 湧口 定衛¹⁾, 江畑 亮太¹⁾, 東 浩二¹⁾, 青墳 裕之¹⁾, 青木 満²⁾, 藤原 直²⁾, 杉村 洋子³⁾

¹⁾ 千葉県こども病院 循環器科, ²⁾ 千葉県こども病院 心臓血管外科, ³⁾ 千葉県こども病院 集中治療科

P-52 小児科フォロー中の成人女性に行った外来看護支援の試み

森貞 敦子¹⁾, 新垣 義夫¹⁾, 脇 研自¹⁾

¹⁾ 倉敷中央病院 小児科

P-53 右室流出路形成術後長期遠隔における問題症例の検討

園田 幸司¹⁾, 稲井 慶¹⁾, 島田 衣里子¹⁾, 稲井 憲人¹⁾, 篠原 徳子¹⁾, 中西 敏雄¹⁾

¹⁾ 東京女子医科大学病院 循環器小児科